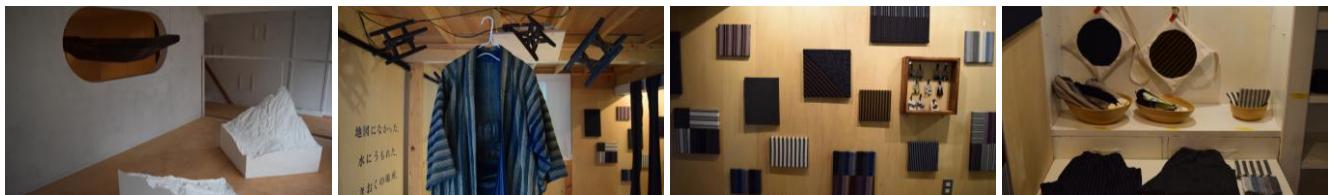


主催:taniya



丸山純子「水滴—地図にない」



亀田縞を通じて、かつての記憶と未来をつむぐプロジェクト

亀田縞でつむぐ記憶と未来をテーマにプロジェクトを実施しました。古町商店街から少し外れた古い建物を使用して『Tsugihagi荘』と仮称し、1階スペースでは糸車や糸巻き、亀田縞の古い野良着の展示とともに、亀田縞を用いた服飾雑貨の展示・販売をおこない、記憶と未来をつむぐことを試みました。

また、2階スペースでは、国内外で活躍する現代美術作家の丸山純子氏を招いて、作品展「地図にない…」をおこないました。かつて芦沼と呼ばれた亀田郷と、そこで暮らす人々の日常生活の中にあった亀田縞をモチーフに、大量の石鹼と亀田郷で実際に使われていた木舟を用いたインスタレーションを展開し、土地や生活の記憶、信濃川の源流をたどった先にある作家の故郷・山梨と新潟との間に連なる雄大な風景を想起させる作品を展示しました。

プロジェクトの実施にあたっては、事前にリサーチした江南区郷土資料館から民具や木舟を借用するなどの多大な協力をいただきました。商店街の外れで実施したこともあり、目標とした来場者数には達しませんでしたが、市内外からご来場いただいた多くの方に服飾雑貨をご購入いただき、アート作品も丁寧に鑑賞していただくことができました。亀田縞のことを知らない方も多く、また、昔の新潟の様子を懐かしく語ってくださる方もいらっしゃいました。

このプロジェクトを通して、亀田縞の素材やデザインの良さに触れていただくとともに、新潟の人々が過ごしてきた生活の様子に想いを馳せる、ちいさなきっかけを創ることができたのではないかと感じています。今後も機会を見つけて、こうしたプロジェクトをおこない、亀田縞の魅力を発信していくければと考えています。（文：谷）

●8月11日(土・祝)~9月24日(月・祝)の土日祝[全18日] 展示
(丸山純子とつむぐプロジェクト会場(Tsugihagi荘))

水と土の芸術祭
Water and Land Niigata Art Festival 2018

市民プロジェクト2018アーカイブ 035